

## 平成 29 年度事業計画案

### I 事業活動基本方針

東京都病院薬剤師会定款第 3 条の目的に沿い、定款第 4 条に掲げる事業を重点に行っていくことを基本とする。病院診療所における業務、医薬品等に関する調査、研究及び情報の提供等を通して会員の医薬品や医療全般に関する知識の向上を実現するため、様々な研究会、研修会等を実施する。その他、がんや感染制御、糖尿病、褥瘡、緩和医療、精神、臨床研究などより専門性の高い分野における研究会を実施する。またこれからの薬剤師に必須となる薬剤師のための臨床推論研究会、ファーマシーマネジメントに関するワークショップを実施する。都民の健康福祉に寄与することを目標に、都民に対し「くすりと健康の週間」や「看護フェスタ」等を通して薬に関する正しい情報、知識などの普及啓発事業を行う。薬剤師を目指す薬学生の実習受け入れ態勢の整備などの支援を行う。

薬剤師を取り巻く医療環境は日々変化しており、病院薬剤師は病棟薬剤業務を通じて医療への貢献が期待されるなかで、地域包括ケアを進めるため、薬薬連携、他職種連携と在宅医療への貢献を目指した活動を実施する。都薬との連携を強化するため、研修会の相互乗り入れを実施すると共に都薬幹部との意見交換を行う。

また、非会員施設へのアンケート調査を行うなど会員の増加対策を進め、本会の組織基盤と財政基盤の強化を図り本会の健全な組織拡大を図る。

#### 1. 医療薬学および薬事に関する調査および研究

##### ■薬務薬制部

- ・ 2025 年問題アンケートの分析
- ・ 東京都医療事故調査等支援団体連絡協議会への対応
- ・ 薬剤関係用語集改訂準備
- ・ セーフティーマネジメント集改訂準備

##### ○薬務薬制部臨床試験推進小委員会

- ・ 臨床研究を実施・支援するための研修会の開催
- ・ 治験等に関わる担当者を対象とした治験業務に関する意見交換会の開催

##### ○薬務薬制部病棟業務整備小委員会

- ・ 研修会を年 3 回開催
- ・ 「若手薬剤師と中堅・ベテラン薬剤師の病棟業務における意識調査」
- ・ 「病棟業務整備小委員会発信の教育評価ツール作成」
- ・ 「東京都におけるポリファーマシーの現状調査」

##### ○薬務薬制部ファーマシーマネジメント小委員会

- ・ ファーマシーマネジメントの基本的考え方を習得するための研修会の開催
- ・ ファーマシーマネジメントに必要とされるスキルの習得を目的とするワークショップの開催

○社会保険制度小委員会

- ・来年度より新たに診療報酬改定要望事項作成等を行うため小委員会を立ち上げる。

2. 病院・診療所・介護保険施設における薬事衛生の普及啓発

■専門領域薬剤師養成特別委員会

(1) がん薬物療法専門薬剤師養成研究会

- ・ BasicClass 及び AdvanceClass の開催
- ・ 会員を対象としたがん治療アップデートに関する公開講座の開催

(2) 褥瘡領域薬剤師研究会の開催

(3) 輸液・栄養領域薬剤師研究会をスキルアップコースと統合して土曜日に年6回開催。

- 配合変化・輸液ライン・フィジカルアセスメント体験研修会の開催
- 特別講演会の開催

(4) 糖尿病領域薬剤師研究会を年6回開催

- 公開講座の開催

(5) 緩和医療領域薬剤師養成研究会の開催

- Basic 5回 Advanced コース2回

(6) 抗菌化学療法・感染制御専門薬剤師養成研究会基礎コース及びアドバンスコースの開催。

- 専門領域研修会半日講習会の開催

(7) 精神科専門薬剤師養成研究会を年5回開催

- 精神科薬物療法学術研究会の開催

(8) 妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研究会の開催

(9) 臨床研究専門薬剤師養成研究会の開催

■臨床推論推進特別委員会

- ・ 臨床推論研究会ワークショップの開催
- ・ 公開講座の開催

■支部組織

(1) 中央支部

- ・ 中央支部勉強会の開催

(2) 城北支部

- ・ 城北支部勉強会の開催

(3) 城南・島しょ支部

- ・ 城南・島しょ支部勉強会の開催

(4) 城東支部

- ・ 城東支部研修会の開催
- ・ 短期集中講座の開催

- ・ 城東支部内における医療機関の見学会の実施
- (5) 多摩西南支部
  - ・ 多摩西南支部・多摩東支部、都薬多摩地区5支部との合同で多摩薬業連携協議会フォーラムの開催
  - ・ 多摩西南支部・多摩東支部合同研究会の開催
- (6) 多摩東支部
  - ・ 支部研究会開催

### 3. 都民に対する薬事の啓発

#### ■総務部

- ・ 本会と東京都薬剤師会と共催の「薬と健康の週間」の事業である「薬の街頭相談」の実施結果の取り纏め
- ・ 東京都看護協会主催の「看護フェスタ」に参加し、血管年齢測定、「お薬相談」、禁煙相談を実施

### 4. 病院・診療所・介護保険施設薬剤師の学識技術の向上

#### ■教育研修部

- ・ 臨床薬学研究会の企画運営
- ・ 新任薬剤師教育研修会を3日間開催
- ・ 会員実務研修会の開催
- ・ 病院薬事研修会の開催
- ・ 日本薬剤師会・日本病院薬剤師会共催病院診療所薬剤師研修会の開催

#### ■中小病院部

- ・ 会員実務研究会の開催
- ・ 薬業連携の推進
- ・ 会員増強のための非会員へのアンケート調査
- ・ 復職支援体制作り
- ・ 診療報酬改定にむけてのアンケート調査

#### ■診療所部

- ・ 診療所例会（医薬品安全に関する研修会、生活習慣病研修会、EBM研修会）の開催
- ・ EBMのワークショップ、フォローアップ研修会の開催
- ・ 文献を読むための基礎知識講座

### 5. 病院・診療所・介護保険施設における医薬品情報の収集および提供

#### ■広報出版部

- ・ 雑誌の発行計画に基づき年6回発行し、会員に当会の活動状況の周知を図る

○ 広報出版部ホームページ小委員会

- ・東京都病院薬剤師会ホームページの運営と管理の実施

#### ■医薬情報部

- ・東京都病院薬剤師雑誌へ掲載する医薬情報の作成
  - \*D I 実例集Q & Aの連載
  - \*D I 解説記事「そこが知りたい医薬情報」の連載
  - \*「クローズアップD I」の連載
  - \*製品情報概要、インタビューフォームの不適切記載の調査、指摘
- ・「授乳婦と薬」の改訂

#### ○医薬情報部プレアボイド小委員会

- ・プレアボイドフォーラムの開催

## II. 管理・運営事項

### 1. 総務部

- ・理事会、総会等の開催に際し、本会の事務局と連携し、その運営を補助する
- ・本会の会員名簿の作成における原稿の校正作業
- ・本会の規約の新規案あるいは改廃案が提出されたとき、必要に応じて当該案を規約整備特別委員会に提出するために整備する。
- ・看護フェスタ、お薬相談の実施
- ・その他、本会の会務における庶務、渉外などの事項への対応

### 2. 会計部

- ・予算案の作成
- ・各部会、委員会、研修会の収支確認
- ・毎月の決算書による収支と伝票の確認
- ・中間、年間の決算書の確認

### 3. 規約整備特別委員会

- ・本会の運営に必要な規約類を随時起案する
- ・新規に起案された規約について、その意義、現行の規約類との整合性などを確認し、理事会や総会などに附議する形に整える
- ・既存の本会の規約類も随時見直し、改廃等の案を理事会や総会などに附議する形に整える

### 4. 臨時総会、通常総会、支部代表委員会、理事会・常任理事会の開催

# 平成29年度収支予算案

協議 4

収入の部				
勘定科目	H29年予算案	H28年予算案	増減	備考
1. 会費収入	46,522,500	45,147,500	1,375,000	
正会員会費	39,370,000	38,095,000	1,275,000	8,500×4,600名、4,500×60名
特別会員会費	3,082,500	3,252,500	△ 170,000	8,500×360名、4,500×5名
賛助会員会費	4,070,000	3,800,000	270,000	全109社
2. 事業収入	14,755,000	14,846,000	△ 91,000	
研修会事業収入	12,495,000	12,536,000	△ 41,000	臨薬研、各研修会
会誌広告収入	2,250,000	2,300,000	△ 50,000	雑誌6回分
印税収入	10,000	10,000	0	印税
3. 交付金収入	7,147,500	7,012,500	135,000	
日病薬交付金	5,820,000	5,580,000	240,000	1,200円×4,850名
都薬交付金	1,327,500	1,432,500	△ 105,000	5,250円×230名、助成金、補助金
4. 雑収入	635,000	830,000	△ 195,000	
雑収入	635,000	830,000	△ 195,000	雑誌販売、預金利息、懇親会参加費
当期収入合計(A)	69,060,000	67,836,000	1,224,000	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入の部合計(B)	69,060,000	67,836,000	1,224,000	
支出の部				
1. 事業費	36,248,000	38,042,000	△ 1,794,000	
給料手当	7,000,000	8,000,000	△ 1,000,000	専務理事報酬
法定福利費	1,120,000	1,200,000	△ 80,000	専務理事社会保険料
退職給与引当金繰入	500,000	0	500,000	専務理事退職金積立分
福利厚生費	26,000	26,000	0	専務理事福利厚生費
会議費	4,370,000	4,308,000	62,000	各部会・特別委員会会議費
旅費交通費	200,000	316,000	△ 116,000	各種研修会講師交通費、専務理事通勤手当
通信運搬費	1,992,000	1,675,000	317,000	雑誌発送、アンケート調査、ホームページ用サーバー
消耗品費	409,000	554,000	△ 145,000	研修シール、研究会文具等
印刷費	8,266,000	8,904,000	△ 638,000	雑誌印刷、研修会テキスト
編集費	1,165,000	1,165,000	0	雑誌編集費
賃借料	3,220,000	2,800,000	420,000	研究会会場費、看護エスエス機器レンタル料
諸謝金	2,790,000	3,239,000	△ 449,000	研修会講師謝礼、雑誌原稿料
活動費	5,190,000	5,855,000	△ 665,000	研修会開催費用、ホームページメンテナンス
2. 管理費	30,650,051	28,281,400	2,368,651	
給料手当	11,322,000	8,819,000	2,503,000	職員給与
法定福利費	1,652,000	1,321,000	331,000	社会保険事業主負担金
退職給与引当金繰入	659,651	0	659,651	職員退職金積立分
福利厚生費	54,000	54,000	0	職員厚生費
会議費	2,181,000	2,482,000	△ 301,000	総会、理事会、総務部、会計部
旅費交通費	615,000	582,000	33,000	学会出張、職員通勤手当
通信運搬費	2,382,000	2,695,000	△ 313,000	電話、切手、はがき
消耗品費	150,000	150,000	0	事務用品
印刷費	1,770,000	1,979,000	△ 209,000	コピー料金、名簿印刷費
光熱水料費	322,000	336,000	△ 14,000	電気料
賃借料	7,230,000	7,704,000	△ 474,000	事務所費、リース代
広報費	86,400	86,400	0	法人名広告
諸謝金	1,038,000	1,061,000	△ 23,000	税理士、労務士顧問料
租税公課	470,000	320,000	150,000	法人住民税、消費税
負担金	130,000	130,000	0	関東ブロック
交際費	180,000	180,000	0	関連団体、慶弔金
委託費	80,000	80,000	0	年会費自動口座振替手数料
図書費	100,000	100,000	0	薬事日報、薬事新報購読料 他
雑費	228,000	202,000	26,000	銀行、振替手数料
3. 特定預金支出	0	1,251,389	△ 1,251,389	
退職給与引当金	0	1,251,389	△ 1,251,389	退職給与引当預金
4. 関東ブロック準備金	500,000	0	500,000	
5. 公開講座積立金	0	0	0	
6. 施設拡充積立金	0	0	0	
当期支出合計(C)	67,398,051	67,574,789	△ 176,738	
当期収支合計(A) - (C)	1,661,949	261,211	1,400,738	
次期繰越収支差額(B) - (C)	1,661,949	261,211	1,400,738	